

## 基本情報

需要家	株式会社門前クリーンパーク
事業の実施場所	石川県輪島市
施設の名称 (需要家の法人名+建物の名称)	株式会社門前クリーンパーク 最終処分場
太陽光発電設備の導入方法	自己所有
導入設備	太陽光発電設備：316.03kW (太陽光パネルの出力) 250.00kW (PCSの定格出力) 定置用蓄電池：783.00kWh (蓄電容量)
稼働開始時期	2025年12月から発電開始
総事業費(税抜)	141,000,000円
平均の年間CO <sub>2</sub> 削減率(削減量)	53.76% (85.93t-CO <sub>2</sub> /年)

## 事業目的・概要等

門前クリーンパークは、廃棄物の中間処理・リサイクル・減量化などの過程によって生じるどうしても再資源化が困難な残渣を適正に処分すべく、安全性の高い管理型最終処分場の整備・運営をおこなっています。

当社は、TREホールディングス株式会社の中核を担う株式会社タケエイを親会社とし、WX環境企業の一員として、高度循環型社会・脱炭素社会の実現に貢献すべく、敷地内に太陽光発電設備を設置しました。また、令和6年能登半島地震において被災し、6カ月で復旧して災害廃棄物の受入を開始した経験から、最終処分場事業においてもBCPの策定が重要だと認識しております。

具体的には、防災調整池の周辺を活用して太陽光発電を導入し、管理棟の電力をすべて賄うことで化石燃料の使用を削減、脱炭素化を推進し、また大容量の蓄電池を導入することで昼間の余剰電力を夜間に放電する制御を行うとともに災害などで外部からの電力供給が途絶えるような非常時においても、廃棄物の受け入れや管理などを継続することができるようになりました。今回の太陽光発電導入によって、処分場運営の安定性・事業継続性を高められるものと考えております。

## 今後の再エネ導入に向けた取り組み

当社の属するTREグループでは、「地球の環境保全に貢献する。」を企業理念とし、高度循環型社会および脱炭素社会の実現に貢献することを目指して、これまでも木質バイオマス発電所の運営、車両や重機の電動化、事業拠点への太陽光パネルの設置等に取り組んできました。当社はTREグループの能登地域における太陽光パネル導入一例目として、ここから得られる知見を活かして、グループ内での太陽光活用拡大に貢献していきます。またグループの一員として方針に沿った各活動を継続し、これらの取り組みを通じて高度循環型社会および脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

## 導入施設の外觀



## 主な導入設備



太陽光パネル



パワーコンディショナー



定置用蓄電池